

第54回（平成30年度）卒業証書授与式が行われました。

3月1日（金）、10:00から、本校第一体育館において平成30年度の卒業証書授与式が行われました。4科、6組、230名（女子：34名）が新しいステージ（就職182名（県外11名）、進学48名）へとスタートを切るようになりました。

林校長先生の式辞では、「本年度は、部活動の運動部門では6部31名がインターハイ出場を果たし、また、ものづくり部門では県大会において6部門中5部門で優勝を獲得するなど、3年生の活躍は目覚ましいものがありました。本当に誇りに思います。卒業生の皆さんはこのような高校生活を送ることができた環境に感謝し、新しい道へ進んでください。これからは「人の気持ちを理解する心」と、「七転び八起の粘り強さ」を持ち、人間力の成長を果たしてください。今年は本校創立80周年を迎えます。歴史と伝統のある母校の卒業生であることを誇りとして、大きな花を咲かせてください。大きな花には大きな根っこが必要です。本校で学んだ3年間がその根っこになるはずです。これを自信と誇りにして、成長してください。」との激励がありました。

中島同窓会副会長の祝辞では、「工業という言葉は“材料を加工して有用なものを作る産業”である。日本は工業なくしては発展できないので、その担い手になってください。人生は「かきくけこ」（か：感謝、き：希望、く：工夫、け：謙虚・健康、こ：行動）が大切であり、一生懸命と共に「一笑謙明」を忘れずに、一回きりの人生を、しっかり歩んでください。」と激励の祝辞がありました。

送辞は2年生の西本君から、「これまでの3年生の体育祭や課題研究における指導的行動や数々の活躍が本当に頼もしく、心から感謝しています。先輩から教えてもらったことを生かして、母校がさらに発展するように、精いっぱい頑張ることを約束します。」との言葉がありました。

答辞は秋田航希君が「修学旅行、課題研究、日常の授業などにおいて、心置きなく学ばせていただいた先生、事務職員、学務員にたいして心から御礼申し上げます。また、弁当作りや学校への送迎など、お世話になった両親には感謝の気持ちで一杯です。これまで教えていただいたこと、培ってきた知識、経験を生かし、歴史と伝統の小松工業高校で学んだことを誇りとして、何事にもチャレンジしていきます。」と力強い言葉がありました。

卒業証書授与式



校庭（はじめ桜のつぼみは固い）



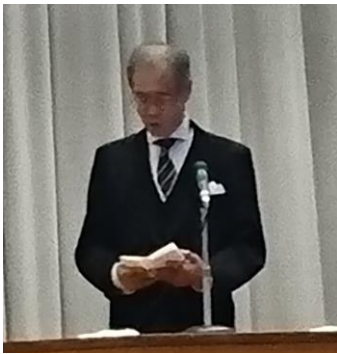
電気科 課題研究展示



喜びの保護者席



林校長先生の式辞



金子教頭先生の告辞



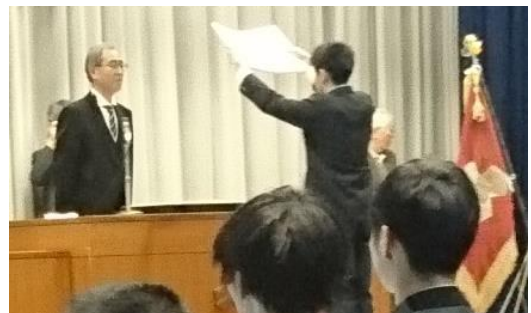
中島同窓会副長の祝辞



卒業証書授与



卒業証書授与



西本君の送辞



式典を演出するブラスバンド



秋田君の答辞



来賓者席



式場全景



以上